

長寿の喜びみんなで祝う

北口リサさんが満100歳の誕生日を迎える

1月27日、特別養護老人ホームりんどう苑で、北口リサさん（浅沢第1）の100歳を祝う会が開かれ、家族や入所者など約30人が出席しました。

この日誕生日を迎えたりサさんに、田村正彦市長から長寿祝い金と花束が贈られたほか、りんどう苑からも花束と大きなケーキが贈られました。お昼前ということもあり少し眠そうなりサさんでしたが、職員からケーキを口元に差し出されると、クリームをおいしそうに食べるなど、まだまだ達者ぶりを披露しました。



リサさん（前列中央）を囲んで、100歳を祝う家族の皆さん

集落活性に大学生が一役

岩手大学地域連携フォーラム in 八幡平市

2月1日、西根地区市民センターで「岩手大学地域連携フォーラム in 八幡平市」が開催されました。

このフォーラムは、産学官が協力して取り組んできた地域活性化事業の成果を発表したもので、市民など約80人が出席。県内4大学（岩手大、県立大、盛岡大、富士大）の学生たちが、目名市集落などで地域住民と一緒に実施した郷土料理継承事業などについて発表したほか、昨年に続き、今月11、12の両日、旧館市小学校校庭で開催する雪まつりの計画を紹介しました。



目名市集落で活動した成果を発表する岩手大学の学生たち

先進事例は安代りんどう

東南アジアの代表者が植物育成者権を研修

1月30日、東南アジアの代表者が市花き研究開発センターを訪れて、安代りんどうについて研修しました。

この研修は、植物の新品種に関する知的財産権である「育成者権」を各国の政策に反映してもらおうと、農林水産省が実施した研修プログラムの一環として行われたもので、インドネシア、カンボジア、ラオス各政府の担当局長などが参加。一行は、安代りんどうの新品種開発や輸出のシステムについての説明に、自国でも取り入れようと熱心に耳を傾けていました。



日影孝志所長(写真手前)の説明に、熱心に耳を傾ける一行



「畑中美耶子さんの進行役で、地域活性化の秘けつが話し合われました」（1月25日、郷土・八幡平の魅力向上シンポジウム）



「たくさん本を読んで表彰されました」（1月28日、市立図書館で『朗読を楽しむお会および読書マラソン表彰式』）



「陸上自衛隊岩手駐屯地の南道行司令が、東日本大震災などにおける活動状況を説明」（2月3日、自衛隊八幡平市協力会防衛講話）